

電子図書館サービスの導入について

１ 主旨

近年のICT化やライフスタイルの多様化に伴い、電子書籍の普及やサブスクリプションによる配信型サービスの利用が加速化している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、新たな生活様式「ニューノーマル」に対応したDX戦略が進められている。これらの状況に対応し、利用者のニーズに合わせた利用方法の選択を可能にすることにより、読書の機会を広く提供し、社会教育の充実を図る。

２ サービスの概要等

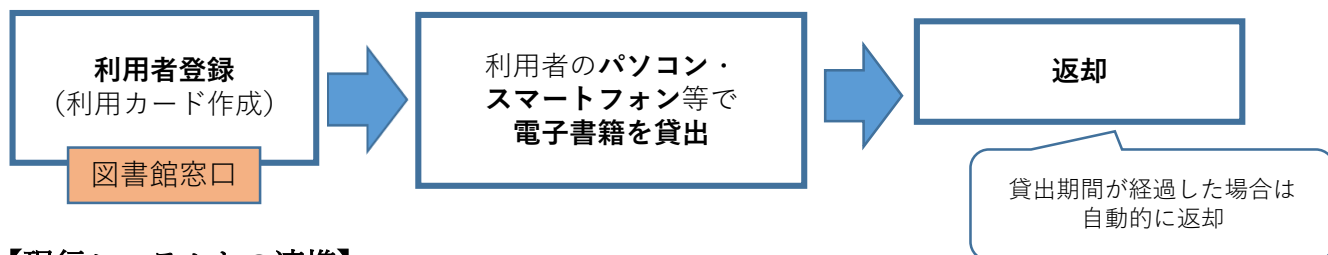
(１) 概要

現行の図書館システムと連携し、利用者は通常の書籍・電子書籍に関わらず検索を行うことができる。

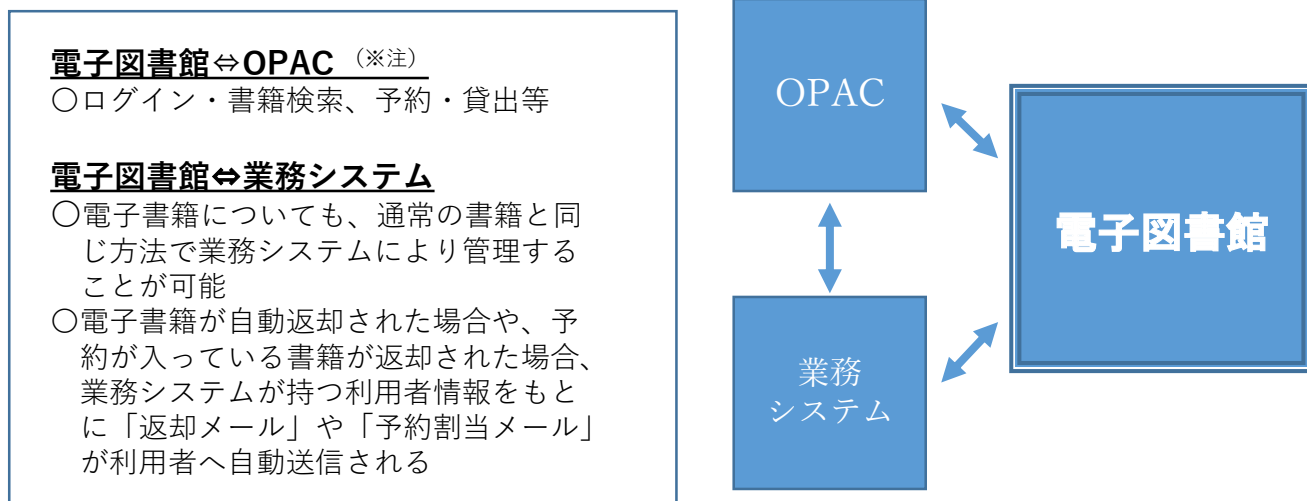
また、電子書籍については、利用者の所有する端末から資料を借りることができる。

対象：区内在住の板橋区立図書館利用登録者

【利用イメージ】



【現行システムとの連携】



※注 OPAC…蔵書検索・予約システム。

図書館内に設置してある端末（館内OPAC）及び利用者所有の端末（WebOPAC）から電子図書館にアクセス可能。

電子書籍については、館内OPACでは検索のみ可能。

(2) 図書館の利用登録と電子書籍の閲覧方法について

1 利用登録（現行と変更なし）

資料を借りるには、区立図書館全館共通の**利用カード**が必要です。

利用カードは、各区立図書館の窓口での利用登録手続きにより発行します。

さらに、**WebOPACでパスワード登録**を行うことにより、お手持ちのパソコンやスマートフォンで資料の予約や延長などが可能になります。

2 電子書籍の貸出方法

電子書籍を借りるには、**利用カード**の発行と**WebOPACでパスワード登録**を済ませていることが必要です。WebOPACにログインすることにより、貸出・予約等が可能です。

※館内OPACでは、検索と貸出状況等の確認はできますが、閲覧（貸出）・予約等はできません。

(3) サービス内容

項目	内容
①サービス名称	板橋区電子図書館
②サービス開始時期	令和4年11月1日
③予定コンテンツ数	約7,000件（令和4年度）
④利用対象	区内在住の板橋区立図書館利用登録者
⑤貸出期間	2週間

3 経費（税込）

(1) 令和4年度経費 計11,985千円

①導入経費	システム連携構築費	6,930千円
②運営経費	基本利用料	1,210千円
	コンテンツ購入経費	3,845千円

(2) 令和5年度経費（予定）計6,749千円

①運営経費	基本利用料	2,904千円
	コンテンツ購入経費	3,845千円

4 周知方法

広報いたばし、区ホームページ、SNSに10月下旬掲載予定。